



Weekly Paper PRC

Rotary International District 2670: The Rotary Club Of Tokushima Prince

- 会 員 総 数 : 71 名
- 出 席 者 : 43 名
- 欠 席 者 : 28 名
- 出席免除会員 : 6 名
- メークアップ : 0 名

出席率
69.01%

本日欠席された方は
メークアップを
してください

主なプログラム

【卓話例会】

ニコニコBOX 報告

麻植会員…7月26日の夜間例会、8月2日の例会・理事会2回欠席し迷惑をかけすみませんでした。

東條会員…大南様 本日は卓話ありがとうございました。

中川会員…先日はお祝いありがとうございました。あと一週間で還暦だあ～

栗本会員…大南信也様 本日の卓話ありがとうございました。

疋田会員…大南様 本日はありがとうございました。神山にはご縁がございますので、今後ともよろしくおねがいします。

林 会員…麻植会長、退院おめでとうございます。今后は世間並みの普通の生活を願います。

大南様 本日は卓話ありがとうございました。

仁志会員…東京出張中 京橋の老舗鰻屋にて特上・鰻重を食べました。パワーアップです!!

上林会員…毎年盆休みの期間は県外に行きます。協力出来ずすみません。

大島会員…ガバナー月信、表紙にのってしまいました。

報告事項

麻植会長

- なし

辻幹事

- 2670 地区ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

ガバナーエレクト：佐々木善教 次期地区代表幹事：泉 一郎 ホスト：松山北ロータリークラブ

事務所：〒790-0001 愛媛県松山市一番町 4-1-5 一誠ビル 7 階

Tel：089-948-8830 / Fax：089-948-8835 E-mail：rid2670go14-15@alto.ocn.ne.jp

執務時間：9時～17時30分（基本、土日祝日はお休み）※ホームページは、開設次第ご連絡させていただきます。

- 地区国際短期交換委員長大島浩輔様から短期交換プログラム（2013-14）受け入れホストクラブへのお礼状到着
- 8月30日(金)ガバナー補佐訪問例会・クラブ協議会への出欠確認おねがい
- 週報到着：鴨島 RC

原田会員増強委員長

- 新入会員 推薦状況について

疋田 SAA

- シェアーズ会お手伝いおねがい

【卓話例会】「創造的過疎への挑戦～ヒトノミクスから考える地域の未来～」グリーンバレー 理事長 大南 信也 様



次回例会ご案内

日 時：2013年8月23日(金) 12:30～13:30

会 場：徳島グランヴィリオホテル

【卓話例会】

「過疎地だけど過疎じゃない！～地域コミュニティの
維持・活性化のための情報支援ビジネス～
マチのコトバ徳島代表理事
滑川 里香（なめりかわ りか）様

『創造的過疎への挑戦』

～「ヒトノミクス」から考える地域の未来～

特定非営利活動法人グリーンバレー
理事長 大南 信也
ominami.shinya@gmail.com

1. 過疎の町で起こった“二つの異変”

2. グリーンバレーの軌跡
 - 1991年 アリス里帰り推進委員会
 - 1992年 神山町国際交流協会
 - 1997年 国際文化村委員会
 - 2004年 NPO法人グリーンバレー

3. 「神山アーティスト・イン・レジデンス」の実施

4. ウェブサイト『イン神山』の制作

5. 神山町における移住の歩み

6 . 「ワーク・イン・レジデンス」とは... ?

7 . サテライトオフィスの誕生

8 . サテライトオフィスの現況と今後の動き

9 . アートが町に運んできたもの

10 . 「創造的過疎」とは ?

11 . 「すき」な徳島を「すてき」な徳島に !

【参考資料】

『奇跡の NPO、グリーンバレーの創造的軌跡』(日経ビジネスオンライン)

反常識、イケてる人が目指す過疎の町

設備やカネじゃない。その雰囲気アーティストをひき付ける

新たなクリエイティブは「神山モデル」が作り出す

『創造的過疎を掲げて地域再生を図る神山町の先見性』(ダイヤモンド・オンライン)

イン神山

検索

田舎で起業ラッシュのなぜ

徳島県神山町にオフィスを設ける企業が相次いでいる。新しい働き方を模索する企業と地元の思惑が合致した。「場」を作る「神山モデル」は地域作りの新しい形を示す。

四国の片田舎が企業誘致に沸いている。徳島県神山町。徳島市から西に車で50分ほどのところにある山間の小さな町だ。

地元のNPO法人(特定非営利活動法人)グリーンバレーが空き家再生を始めたのは2008年6月のこと。その後、1ターナー者の受け入れを進める中で、サテライトオフィスを構える企業が増え始めた。人口6500人の町に、東京の企業が相次いでオフィスを構えるのはそうそうない。

クラウド名刺管理サービスの三三が2010年10月に古民家を借りたのを皮切りに、IT(情報技術)サービスのダンクソフトやコールセンター運営のテレコメディアなど6社に増えつつある。

三三やダンクソフトは既にオフィスとして活用している。3月から神山町で一人暮らし老人の見守りサービスを始めるテレコメディアは活動拠点として、ソノリテはコールセンターとして、ベルシオンやローカルアクションは本



徳島県の山間部が企業誘致に沸いている

社としての活用を視野に入れる。

神山町へのベンチャー企業の進出が相次いでいるのは、都会とは異なる環境に価値を見いだしているためだ。

アイデアは「場」が生み出す

「新しい開発スタイルを模索していた」と三三の寺田親弘社長が語るように、米シリコンバレーのエンジニアは場所に縛られないフレキシブルな働き方をしている。それが自由な発想やイノベーションにつながっていると言っ

ても過言ではない。

三三の企業理念の1つは「顧客の働き方に革新を起こすこと」。その理念を体現し、新しい働き方を模索するために、自然豊かな神山町で

の「神山ラボ」の開設を決めたわけだ。その決断には、ひと月3万円前後の家賃と、神山町の全戸に光回線が整備されていたことも大きい。

もう1つは、グリーンバレーの存在だ。都会の人間が移り住む際に、地元住民との軋轢が生じることは少なくない。だが、グリーンバレーが地域社会との橋渡しをするうえに、空き家の斡旋や不在時の鍵の管理なども手厚い。

グリーンバレーが作り出す「場」に共感し、盛り上げたいと考える企業も少なくない。

神山町では様々な背景を持つ人々が集まりつつある。2008年以降、神山町にはパン屋やウェブ技術者、映像作家など約70人が移り住んだ。

実は、グリーンバレーは移住希望者を先着順で受け入れるのではなく、神山町が必要とする人材を逆指名するという手法を取っている。それも、重視するのは手に職があるかどうか。少子化と高齢化に直面する神山町に必要なのは若者と子供だが、町内に雇用の場は限られているためだ。

「人が来れば、アイデアや考えが必ず残る」と大南信也理事長が語るように、グリーンバレーは技能を持つ移住者と地域住民、都会で働く技術者が交流することで、新しい事業やサービスを生み出そうとしている。「その流れの中に飛び込みたいと思った」とローカルアクションの平松玲社長は言う。

イベントのように、モノを中心としたシステムは飽きがくるかもしれないが、人を適度に循環させておけば、継続的に新しい何かが生み出せる。神山町で相次ぐ起業ラッシュは、過疎化に苦しむ地域社会に1つのヒントを与えている。

(徳原 匡) ■



空き家となった古民家はオフィスやスタジオに生まれ変わる



おおみなみ・しんや
1953年、徳島県生まれ。米スタ
ンフォード大大学院を修
了、建設会社の大南組（同県
神山町）社長。91年から地域
活動に関わり、2004年にNPO
法人「グリーンパレー」を
設立した。

過疎の町に相次ぎ先端企業を誘致

大南 信也氏 (59)

徳島県中部の山あいの町、神山町は人口6300人。古民家の引き戸を開くと、パソコンをたたき若者の姿がある。クラウド名刺管理で成長中のIT（情報技術）ベンチャーの社員だ。大河ドラマ「八重の桜」のタイトルバックを制作する映像企業も4月にオフィスを構える。先端企業を過疎の町に呼び込む手腕に注目が集まっている。

米スタンフォード大大学院に学んだ後、家業の建設会社を継いだ。だが造った道路で住民が町を去る光景に衝撃を受け、「人が人を呼ぶ連鎖と循環をつくる」とNPO法人を立ち上げた。オフィス用に空き古民家を仲介し、地上デジタル放送の難視聴対策の光ファイバー網を低コス

トで使える利点も訴える。

最も企業の共感を呼ぶのは住民一体で受け入れムードをつくれたこと。夜は地元住民や企業の社員が一緒にこたつで煮物をつつく。「地域貢献なんて考えなくていい。ここで本業が成り立つと証明してください」。雇用や税収の即効性は求めず、中期に「新しい仕事」が生まれれば町がよみがえると考える。

2011年度に人口が初の転入超に。今年度は150団体が視察、2月には安倍政権が催す地域住民との対話会の第1回開催地になった。人口減や高齢化はいずれ都市部も直面する課題だ。「『創造的過疎』のモデルをつくる」と胸を張る。

（消費産業部 石森ゆづ太）

旬の人 時の人